

令和 2 年度 事業報告書

(令和 3 年 3 月 31 日現在)

社会福祉法人 えびの市社会福祉協議会

目 次

1, 事業報告書

① 社会福祉法人現況報告書	1
② 理事会・評議員会開催報告書	4
③ 月別主要行事報告書	5
④ 総合福祉センター利用実績報告書	8
⑤ ボランティアセンター運営事業報告書	9
⑥ 地域支えあい事業実績報告書	11
⑦ 高齢者生きがい対策（小菜園）事業実施報告書	12
⑧ 心配ごと相談・無料法律相談事業実施報告書	13
⑨ ファミリーサポートセンター事業実績報告書	14
⑩ 日常生活自立支援事業実績報告書	15
⑪ 生活福祉資金貸付事業実績報告書	16
⑫ 訪問介護・予防総合事業実績報告書	17
⑬ 居宅介護サービス事業実績報告書（障害）	18
⑭ 通所介護事業実績報告書	19
⑮ 高齢者給食サービス事業実績報告書	21
⑯ 居宅介護支援事業実績報告書	23
⑰ 相談支援事業実績書	25
⑱ 中部在宅介護支援センター管理運営事業実績報告書	26
⑲ 生活コーディネーター業務実績報告書	27
⑳ 在宅介護者のつどい（和の会）事業実績報告書	28
㉑ その他の取組事業	29

社会福祉法人現況報告書

令和 3 年 3 月 31 日現在

報 告 書	主たる事務所の所在地		〒889-4221 宮崎県えびの市大字栗下 67 番地				
	名 称		社会福祉法人えびの市社会福祉協議会 電話番号 (0984)35-2800				
	代 表 者	氏 名	就任年月日	年齢	住 所	職業	
		瀬戸崎恵子	平成 27 年 1 月 24 日	71 歳	えびの市大字原田 2228	無職	
設立年月日		昭和 47 年 7 月 4 日		設立登記年月日		昭和 47 年 8 月 2 日	
社 会 福 祉 事 業	第 2 種	種 類 及 び 名 称				所 在 地	事 業 開 始 年 月 日
		1.社会福祉を目的とする事業の企画および実施 2.社会福祉に関する活動への住民のための援助 3.社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成 4.1～3 のほか、社会福祉を目的とする事業の健全な発展を図るために必要な事業 5.保健医療、教育その他の社会福祉と関連する事業との連携 6.共同募金事業への協力 7.居宅介護等事業 8.老人デイサービス事業の経営 9.ふれあい館の経営 10.老人在宅介護支援センター(えびの市中部在宅介護支援センター・ふれあい館)事業 11.えびの市高齢者介護予防・生活支援事業の運営 12.えびの市高齢者給食サービスセンター事業の経営 13.訪問入浴サービス事業の経営 14.居宅介護支援事業の経営 15.ボランティア活動の振興 16.えびの市総合福祉センターの運営 17.心配ごと相談事業(ふれあい福祉センター) 18.生活福祉資金貸付事業 19.日本赤十字社事業への協力 20.障害福祉サービス事業の経営 21.相談支援事業の経営 22.福祉サービス利用援助事業 23.ファミリーサポートセンター事業 24.その他この法人の目的達成ために必要な事業				宮 崎 県 え び の 市 大 字 栗 下 六 七 番 地	昭 和 四 七 年 七 月 四 日

	所在地		面積 (㎡)	評価額 (円)	担保提供状況				
					提供年月 日	借入残額 (千円)	借入先	償還期限	所轄庁 の承認 の有無
不動産の 所有状況	建物	栗下 六七	本館 860.96	新築当初 178,900,000 (27,554,504 現在高)		無			
		栗下 六八	ふれあい館 523.86	新築当初 194,999,000 (16,876,512 現在高)		無			
	土地	栗下 六九・ 七〇	駐車場 2005	造成当初 21,206,519 (21,206,519 現在高)		無			
理事・ 監事	定数		理事		8名		監事		2名
	役職	氏名		就任 年月日		職業	親族 等特 別関 係人 の有 無	役員等の資 格等	理事会への 出席回数 (出席／開催)
	会長	瀬戸崎恵子		H18.8.3 (会長就任 H27.1.24)		無職	無	学識経験	3／3
	副会長	徳重順子		H25.8.21		無職	無	ボランティア代表	3／3
	理事	宮浦佳紀		H31.4.26		無職	無	自治会長	3／3
	理事	黒木良二		R2.6.1		公務員	無	福祉事務所長	3／3
	理事	宮久保辰二		H26.5.2		無職	無	学識経験	3／3
	理事	上野憲昭		H28.12.19		無職	無	民児協会長	3／3
	理事	小園武男		H28.3.23		無職	無	学識経験	3／3
	理事	松元國治		H28.8.3		無職	無	学識経験	2／3
	監事	松岡信一		H28.8.3		無職	無	学識経験	3／3
	監事	松永康二		H29.6.19		無職	無	学識経験	2／3

評 議 員	定数	18 名				
	氏 名	就任年月日	職業	親族等 特別関 係人の 有無	役員の資格等	評議員会へ の出席回数 (出席／開 催)
	野田幸一	H28.3.23	無職	無	民協副会長	3／3
	井園甚市	R1.12.11	無職	無	民協副会長	3／3
	園田軍志	H28.12.19	無職	無	民協副会長	3／3
	篠原なみ子	R1.12.11	無職	無	民協副会長	2／3
	堀川純一	R1.6.27	無職	無	地区自治会長	3／3
	増田賢造	R1.6.27	無職	無	地区自治会長	3／3
	木野幸典	R2.6.8	無職	無	高齢者クラブ代表	2／3
	高牟禮宏邦	H6.7.22	無職	無	知識経験	3／3
	松窪ミツエ	H19.5.31	無職	無	ボランティア代表	0／3
	田内四朗	H19.5.31	会社員	無	ボランティア代表	3／3
	鬼脇千代子	H19.5.31	団体職員	無	学識経験	3／3
	紫雲宣子	H22.7.3	団体職員	無	ボランティア代表	2／3
	東良一郎	H23.12.2	自営	無	学識経験	1／3
	貴嶋より子	H24.7.3	団体職員	無	学識経験	2／3
	鶴田ミイ子	H26.7.3	無職	無	学識経験	3／3
	源嶋静義	H28.7.3	無職	無	学識経験	2／3
	上水順子	H28.7.3	無職	無	学識経験	2／3
	上野芳伸	R1.6.27	無職	無	団体の長	2／3

理事会・評議員会開催報告書

1 理事会 (3 回)

開催年月日	出席数	決 議 事 項
R 2. 6. 1	7 名	1 平成 31 年度事業報告・決算承認について 2 運営規程の一部改正について 3 評議員選任・解任委員会の選任及び解任について 4 評議員の候補者推薦について 5 評議員会の開催について
11. 27	8 名	1 報告第 1 号 給与規定の一部改正について 2 令和 2 年度第 1 次補正予算の承認について 3 規則・規約の新設及び一部改正について 4 評議員会の開催について
R 3. 3. 3	8 名	1 嘱託職員、臨時職員、パート職員、短時間パート職員への通勤手当支給について 2 嘱託職員、臨時職員、パート職員、短時間パート職員の就業規則の一部改正について 3 令和 2 年度第 2 次補正予算案について 4 令和 3 年度事業計画並びに収支計算書（案）について 5 評議員会の開催について

2 評議員会 (3 回)

開催年月日	出席数	決 議 事 項
R 2. 6. 15	16 名	1 平成 31 年度事業報告・決算承認について
12. 14	12 名	1 令和 2 年度第 1 次補正予算（案）について
R3. 3. 19	14 名	1 令和 2 年度第 2 次補正予算（案）について 2 令和 3 年度事業計画並びに収支予算書（案）について

月別主要行事報告書

月別	種別	主 要 行 事
4 月	社協	・辞令交付式 ・相談員委嘱状交付式 (1) ・小林市社協、高原町社協訪問 (6) ・課長会、主任会議 (13) ・ふれあい福祉センター総合相談 (心配ごと相談 毎週水曜日 午後1時30分より4時30分)
	県他	・防犯協会理事会 (17) ・人権同和問題啓発推進協議会幹事会 (27) ・弁護士無料法律相談 (毎月第3木曜日)
	団体	・自治会長会 (6) ・民協監査 (1)・民協役員会 (3)・民協総会、定例会 (10) ・高ク監査 (3)・高ク役員会 (13)・高ク総会 (17) ・身障福祉会総会 (11)・日赤奉仕団監査、役員会 (3)・遺族会監査、理事会 (24) ・更生保護女性会監査、役員会 (6)・更生保護女性会支部長会 (14)
5 月	社協	・課長会 (18) ・社協監査 (22) ・ふれあい福祉センター総合相談 (心配ごと相談 毎週水曜日 午後1時30分より4時30分)
	県他	・奨学生選考委員会 (20) ・弁護士無料法律相談 (毎月第3木曜日) ・公証人無料相談 (28)
	団体	・自治会長会 (7)・高ク役員会 (1) ・民協役員会 (1) 民協定例会 (8)
6 月	社協	・理事会 (1)・評議員会 (15) ・評議員選任解任委員会 (8) ・課長会 (10)・主任会議 (15) ・ふれあい福祉センター総合相談 (心配ごと相談 毎週水曜日 午後1時30分より4時30分)
	県他	・えびの市防災会議 (26)・えびの市表彰審議会 (29) ・弁護士無料法律相談 (毎月第3木曜日)
	団体	・自治会長会 (5)・高ク役員会 (1)・民協役員会 (5) 民協定例会 (12) ・日赤奉仕団役員会 (25)・視覚障害者福祉会役員会 (24)
7 月	社協	・加久藤中高齢者疑似体験 (1)・にしもろブロック連協理事会 (21) ・暮らしネットサポーター養成講座 (13・20・27)・主任会議 (15)・課長会 (31) ・ふれあい福祉センター総合相談 (心配ごと相談 毎週水曜日 午後1時30分より4時30分)
	県他	・生活支援介護予防サービス推進会議 (6)・えびの市こども未来応援協議会 (14) ・飯野高校を守り育てる会 (20)・えびの市戦没者追悼奉賛会総会 (22) ・成年後見ネットワーク無料説明会 (27) ・県共募理事会 (22)・地域ケア会議 (30) ・市町村 VO 連協ブロック別役員会議 (22) ・弁護士無料法律相談 (毎月第3木曜日)
	団体	・自治会長会 (6)・高ク役員会 (1) ・民協役員会 (3)・民協定例会 (10)・更生保護女性会役員会 (16)

月別	種別	主 要 行 事
8 月	社協	・暮らしネットサポーター養成講座 (3)・主任会議 (12)・課長会 (24) ・ふれあい福祉センター総合相談 (心配ごと相談 毎週水曜日 午後1時30分より4時30分)
	県他	・えびの市介護保険運営協議会 (26) ・西諸地域自殺対策協議会 (26) ・弁護士無料法律相談 (毎月第3木曜日)
	団体	・自治会長会 (中止)・民協役員会 (7)・身障役員会 (4) ・高ク役員会 (3) ・日赤奉仕団役員会 (5)
9 月	社協	・通所介護、給食サービス午前中台風の為休止 (7)・主任会議 (14)・課長会 (24) ・通所介護事業敬老会 (17・18)・ファミサポおたすけ会員講座 (15～17) ・ふれあい福祉センター総合相談 (心配ごと相談 毎週水曜日 午後1時30分より4時30分)
	県他	・法人後見専門員育成研修会 (18) ・北昌明寺敬老会 (8)・中内堅敬老会 (16)・西内堅敬老会 (20)・上原田敬老会 (21) ・弁護士無料法律相談 (毎月第3木曜日) ・公証人無料相談 (24)
	団体	・自治会長会 (中止) ・民協役員会 (4)・民協定例会 (11)・高ク役員会 (2)・更生保護女性会役員会 (29)
10 月	社協	・わくわくお出かけサロン (5・12・19・26) ・主任会議 (14)・和の会 (14)・特別会費巡回 (12～23) ・九市社協会長局長会議 (29) ・ふれあい福祉センター総合相談 (心配ごと相談 毎週水曜日 午後1時30分より4時30分)
	県他	・外部評価委員会 (1・8・15) ・えびの市戦没者追悼式 (23) ・同一賃金同一労働説明会 (21) ・奨学生選考委員会 (30) ・宮崎県社会福祉大会 (13)・日赤有功表彰 (22) ・えびの市地域公共交通確保維持協議会 (26) ・弁護士無料法律相談 (毎月第3木曜日)
	団体	・自治会長会 (5) ・高ク役員会 (1)・民協役員会 (1) 民協定例会 (9) ・日赤奉仕団役員会 (1)
11 月	社協	・ひとりだけの金婚式 (4) ・中間監査 (13)・お出かけサロン (2・9・16・24) ・障害者相談支援監査 (16)・暮らしネットサポーター養成講座 (20・26) ・理事会 (27)・布団丸洗い (18～25)・宮崎市社協視察 (11) ・日常生活自立支援事業訪問調査 (26) ・ふれあい福祉センター総合相談 (心配ごと相談 毎週水曜日 午後1時30分より4時30分)
	県他	・市民表彰式 (3) ・ケアマネ県南ブロック研修 (7)・菜の花会 (19)・宮崎県自殺対策研修 (18) ・えびの市金婚式 (20) ・弁護士無料法律相談 (毎月第3木曜日) ・公証人無料相談 (26)
	団体	・自治会長会 (5) ・高ク役員会 (2) ・民協役員会 (6)・民協定例会 (13) ・身障福祉会支部長会 (9) 身障福祉会日帰り研修 (11. 12. 18) ・日赤奉仕団生活支援講習会 (10)

月別	種別	主 要 行 事
12 月	社協	・和の会 (9)・暮らしネットサポーター養成講座 (4・10) ・お出かけサロン (7・21・28) ・カレーの日上江 (12) ・こども宅食 (17) ・災害 VO 訓練職員研修 (11) ・仕事納め式 (28) ・主任会議 (14)・評議員会 (14)・自治会連合会役員・社協役員合同会議 (18) ・ふれあい福祉センター総合相談 (心配ごと相談 毎週水曜日 午後1時30分より4時30分)
	県他	・えびの市市政 50 周年式典 (6) ・歳末たすけあい募金：上江小中 (16) 真幸小 (17) 加久藤小 (22) 岡元小 (23) 真幸中 (24) ・弁護士無料法律相談 (毎月第3木曜日)
	団体	・自治会長会 (7)・福祉団体長会 (2)・高ク役員会 (1)・民協役員会 (4)・民協定例会 (11) ・高ク GG 大会 (8) 更生保護女性会役員会 (2)・日赤奉仕団役員会 (9)
1 月	社協	・わくわくお出かけサロン (4・12・18・25) 買い物のみ ・主任会議 (13)・課長会 (12) ・ふれあい福祉センター総合相談 (心配ごと相談 毎週水曜日 午後1時30分より4時30分)
	県他	・えびの市こども未来応援会議 (26) ・弁護士無料法律相談 (毎月第3木曜日)
	団体	・高ク役員会 (6)・民協役員会 (8)・視覚障害者福祉会役員会 (13)
2 月	社協	・課長会 (8)・主任会議 (10)・こども宅食 (18) ・北諸・都城・にしもろブロック合同研修会議 (12) ・緊急事務局長会議 (26) ・ふれあい福祉センター総合相談 (心配ごと相談 毎週水曜日 午後1時30分より4時30分)
	県他	・会計財務研修 (4)・県在介協理事会 (4)・ケアマネ研究大会 (7) ・日赤事務員会議 (15)・地域ケア会議 (25) ・介護保険運営協議会 (15)・子どもの貧困対策研修 (21) ・まち・ひと・しごと創生推進会議 (22)・えびの市青少年問題協議会 (24) ・弁護士無料法律相談 (毎月第3木曜日)
	団体	・自治会長会 (5)・民協役員会 (4) 日赤奉仕団役員会 (16)
3 月	社協	・理事会 (3)・主任会議 (8) ・にしもろブロック連協災害ボランティア訓練 (6) ・わくわくお出かけサロン (1・8・15・22) ・日常生活自立支援事業適正委員訪問調査 (12) ・通所介護、訪問介護、障害居宅事業実地指導 (15) ・評議員会 (19) ・ふれあい福祉センター総合相談 (心配ごと相談 毎週水曜日 午後1時30分より4時30分)
	県他	・県共同募金会理事会 (17) ・生活支援介護予防協議会 (24) ・えびの市防災会議 (26) ・弁護士無料法律相談 (毎月第3木曜日) ・公証人無料相談 (25)
	団体	・自治会長会 (5) ・民協役員会 (5)・民協定例会 (12)・高ク役員会 (1)・日赤奉仕団役員会 (18) ・更生保護女性会役員会 (30)・視覚障害者福祉会役員会 (10)

令和2年度 総合福祉センター利用実績報告書

月 部屋名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
福祉団体室	回数	10	6	10	9	6	7	7	8	7	9	12	101 回
	人員	76	14	48	36	20	33	18	34	31	32	39	413 人
相談室	回数	5	3	1	2	1	2	0	2	0	0	0	17 回
	人員	21	10	2	4	2	7	0	4	0	0	0	52 人
調理室	回数	0	0	2	2	1	0	1	2	0	1	4	15 回
	人員	0	0	11	12	6	0	6	12	0	6	11	78 人
生活訓練室	回数	2	2	4	5	3	0	1	2	0	1	3	24 回
	人員	4	4	8	10	6	0	2	7	0	2	6	54 人
視聴覚室	回数	6	3	5	5	4	3	5	9	4	7	14	71 回
	人員	49	19	59	56	49	32	60	79	46	47	151	732 人
コミュニティセンター 集会室	回数	6	7	7	12	5	7	13	12	2	5	14	99 回
	人員	143	156	171	248	89	167	285	237	30	84	313	2,110 人
合計	回数	29	21	29	35	20	19	27	37	13	23	47	327 回
	人員	293	203	299	366	172	239	371	373	107	171	520	3,439 人

令和2年度 ボランティアセンター運営事業報告書

事業名	事業内容
ボランティア コーディネーター 設置事業	《活動内容》 ○各種ボランティアグループ、個人活動者等の育成、登録、ボランティアに関する相談支援活動を行った。
	《事業実績》 ボランティア登録数 ○ボランティア団体 73 団体 1,567 名 ○個人ボランティア151 名（一般4名、地域福祉推進員147名） 相談・コーディネート数 45件（ボランティア保険加入手続き含）
ボランティア 連絡協議会	《活動内容》 ○市町村ボランティア連絡協議会ブロック別役員会議 7/22 ○県下一斉ボランティアの日 奉仕活動（中止）
	《事業成果》 ・本年度は、コロナウイルス感染拡大防止対策により、多くのボランティア団体の活動が中止や自粛となった。コロナ禍での今後の活動方針や進め方について協議が必要である。 ・市町村ボランティア連絡協議会では、連協会長・事務局2名で参加し他市町村の動向や活動について見聞を広めることができた。 ・県下一斉ボランティアの日 一斉奉仕作業については、8/23 に加久藤地区(市役所周辺)で準備を進めていたが、コロナ感染拡大により直前に中止することとなった。
ボランティア 情報誌発行事業	《活動内容》 ○ボランティアだより発行（年4回）6月、9月、12月、3月 全世帯配布
	《事業成果》 ・市民の方に対し、年4回のボランティアだよりの発行を行った。各地で広がっている生活支援ボランティアの関する情報ははじめ、各種ボランティア講座の案内、団体紹介、ボランティアセンターの活動状況等を報告し、ボランティアへの関心を持っていただく為の情報源となっている。
ボランティア 体験事業	《活動内容》 ○ボランティア体験月間(7月～8月) 中高生及び一般向けのボランティア体験実施 加久藤地区実施 ○生活支援ボランティア育成事業（暮らしねっとサポーター養成講座） 第1クール 7/13、7/20、7/27、8/3 第2クール 11/20、11/27、12/4、12/10 ○市内小学校福祉教育指導 疑似体験（アイマスク・車椅子・高齢者疑似体験） 加久藤中学校 2年生 41名 7/1 加久藤小学校 4年生 36名 3/17 ※真幸中学校1年生はコロナにより中止となる ※飯野小学校6年生は自主開催………体験用福祉用具の貸出を行う ○いきいきはつらつサポーター養成講座講師派遣 4/14、10/10、3/15

	《事業成果》 ・ボランティア体験月間では、中学校に協力を要請しボランティアを募った。学校の反応も良く予定以上の参加希望がありボランティア活動に参加意欲のある生徒が多いことがわかった。今後も学校との連携を密にし、福祉教育やボランティア活動について斡旋を行っていきたい。 ・生活支援ボランティア育成事業では4回目を迎え、多くの受講生が地域の困りごとに関心を持っていただくことが出来た。また有償ボランティアとして活動が始まった「小さな幸せ応援団」も市民か多くの問い合わせがあり、地域での助け合い活動が広がりをみせている。 ・市内小中学校に対する福祉教育指導においては、コロナで断念する学校もあったが、本年度2校の福祉体験が開催できた。車いすや、高齢者疑似体験をとおして、身の回りにあるバリアに気付き、地域で誰もが幸せに暮らしていくためには何をしたらよいか、生活課題から福祉課題に気付き人と人との関わり方について学んでもらうことが出来た。 ・いきいきはつらつサポーター養成講座では、ボランティア活動での注意点やポイントを説明させていただき活動紹介など行うことができた。
ボランティア登録・斡旋事業	《活動内容》 ○ボランティア登録・斡旋・管理 ○ボランティア保険の紹介・保険加入手続き業務 ○ボランティア活動についての相談受け ○ボランティア保険の一部助成 《事業成果》 ボランティア保険の登録により、安心してボランティア活動ができる環境整備を行うことが出来た。市民の方からの相談に対し、ボランティアの紹介・斡旋を行い困りごとの解決に繋げることができた。
ボランティア活動促進事業	《活動内容》 ○子ども食堂（カレーの日） ボランティア育成事業 飯野地区 10/24 加久藤地区 11/14 上江地区 12/12 ○ぶーらボーラ(ホームページ)による情報発信 《事業成果》 ・コロナウイルス感染拡大防止対策により本年度は3回の実施となった。ほとんどのイベントが中止となるなか、久しぶりのカレーの日への参加で保護者からも喜びの声が聞かれた。 ・本年度、飯野まちづくり協議会が子ども食堂を始めることになっていたが、コロナにより見送られた。今後自立して運営いただけるよう支援させていただく予定である。
災害ボランティア事業	《活動内容》 ○7月豪雨災害に伴う職員派遣（人吉市） 7/23～7/26 ○県災害ボランティアセンター支援プロジェクト会議 3/2 ○災害ボランティア基礎講座その① 社協職員研修 12/11 ○災害ボランティア基礎講座その② 社協職員研修 2/5 ○災害ボランティアセンター設置運営訓練 3/6 ○災害ボランティアセンターマニュアルの見直し 《事業成果》 ・7月豪雨災害では甚大な被害が発生した人吉市へ職員派遣を行い被災地支援を行った。また市民に対しボランティアセンターだよりを通じて義援金の呼びかけを行うことが出来た。 ・災害ボランティア基礎講座として、2回の職員研修を行い、職員の災害に対する心構えや知識の向上につながり職員のスキルアップに繋がった。 ・災害ボランティアセンター設置運営訓練では、にしもろブロック社協をはじめ、青年会議所、市民協働課、基地防災対策課の職員を交え運営研修を実施することが出来た。各関係機関との連携や今後の対応についても協議することができ、協力体制強化に繋がった。また、災害ボランティアセンター運営マニュアルの見直しや、備品や資材等の整備を行うことが出来た。

令和2年度地域支え合い事業実績報告書

事業の名称		地域支え合い事業
活動	実施者	利用者延べ1,882名(630名) VO延べ697名(登録781名) 地区役員延べ366名
	対象地域	堀浦・上大河平・下大河平・杉水流・五日市・東原田・麓(飯)・坂元・前田・芋畑・山内 高野・町・今西・上上江・駅前・中原田・上原田・南原田・田代・出水・末永・白鳥 松原・前松原・中島・栗下・西長江浦下・東長江浦下・永山・湯田・東川北・ <u>牧の原</u> 水流・南昌明寺・東内堅・中内堅・西内堅・南岡松・柳水流・京町・下浦・中浦・上浦 上島内・下島内・西川北・ <u>北昌明寺</u> 計48地区(VO協力42地区、VO無し5地区、時短1地区)
	対象者等	各地域内の65歳以上の高齢者や障害者で家に閉じこもりがちの方で公民館まで歩いて来られる方 実施地区44地区 年間延べ177回開催、実績利用者延べ1,882名
	活動期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日
実績等	活動の 具体的内容	① 毎月1回、自治公民館等でふれあいデイサービスを44地区 日課(健康チェック、ウレション、講座、会食、外出) 目的(高齢者や障害者の生きがいづくり、介護予防、仲間づくり、子育て支援、ボランティア育成) ② ボランティアによる昼食づくり ③ 地域内子供たちとの交流(ふれあい) 子育て支援センターとの交流(毎月1地区) ④ 協力機関(在宅介護支援センター・子育て支援センター・消費生活センター・警察・交通安全協会など) ⑤ 各地区ボランティア研修年1回実施
	活動 実績	4月 行政事務連絡会議(自治会長会議)にて説明及び希望地区申請書配布(64地区) 実施希望地区申込受付
		5月 午前中開催(昼食準備なし)、24地区中止 7地区実施(上大河平・東原田・上原田・南原田・中島・ <u>牧の原</u> ・下島内) 昼食無7
		6月 午前中開催、8地区中止 22地区実施(上大河平・杉水流・五日市・東原田・麓(飯)・山内・高野・駅前・上原田・南原田・松原・前松原 中島・湯田・東長江浦下・水流・東内堅・柳水流・京町・下浦・下島内・北昌明寺) Vo調理8 Vo調理無5 昼食無9
		7月 通常開催と午前中開催が混在、10地区中止 30地区実施(堀浦・上大河平・下大河平・杉水流・五日市・東原田・麓(飯)・前田・芋畑・上上江・中原田・上原田 南原田・白鳥・松原・前松原・中島・西長江浦下・永山・湯田・東川北・ <u>牧の原</u> ・南昌明寺・東内堅・西内堅・京町・下浦 中浦・下島内・北昌明寺) Vo調理24 Vo調理無4 昼食無2
		8月 通常開催と午前中開催が混在、21地区中止 3地区実施(上原田・松原・下浦) Vo調理2 Vo調理無1 昼食無0
		9月 実施予定17地区 全面中止
		10月 午前中開催、10地区中止 23地区実施(上大河平・下大河平・杉水流・五日市・東原田・麓(飯)・坂元・芋畑・山内・高野・上上江・中原田 上原田・南原田・松原・中島・湯田・東川北・水流・京町・下浦・下島内・北昌明寺) Vo調理19 Vo調理無4 昼食無0
		11月 午前中開催、7地区中止 35地区実施(堀浦・上大河平・下大河平・杉水流・五日市・東原田・麓(飯)・坂元・今西・上上江・駅前・上原田 南原田・田代・出水・末永・松原・中島・西長江浦下・永山・湯田・東川北・東長江浦下・ <u>牧の原</u> ・水流・南昌明寺・東内堅 西内堅・南岡松・柳水流・京町・下浦・上浦・下島内・北昌明寺) Vo調理27 Vo調理無6 昼食無2
		12月 午前中開催、11地区中止 24地区実施(杉水流・五日市・東原田・麓(飯)・坂元・山内・高野・町・上上江・上原田・南原田・末永・松原 東川北・東長江浦下・水流・南昌明寺・南岡松・柳水流・京町・下浦・上浦・下島内・北昌明寺) Vo調理19 Vo調理無5 昼食無0
		1月 実施予定24地区 宮崎県独自の緊急事態宣言期間中 全面中止(1/7～2/7) 3地区実施(上原田・南岡松・下浦) Vo調理2 Vo調理無1 昼食無0
		2月 午前中開催(会食なし)、20地区中止 11地区実施(麓(飯)・山内・南原田・中島・東川北・南昌明寺・東内堅・柳水流・京町・下浦・下島内) Vo調理6 Vo調理無2 昼食無3
		3月 午前中開催(会食なし)、15地区中止 19地区実施(上大河平・五日市・麓(飯)・芋畑・上原田・南原田・中島・西長江浦下・永山・湯田・水流・南昌明寺 東内堅・西内堅・柳水流・京町・下浦・下島内・北昌明寺) Vo調理7 Vo調理無10 昼食無2

【評価】新型コロナウイルス感染拡大の影響により今年度167件の実施予定が中止となった。代替え活動で社協スタッフによる様子伺いコール19地区218件実施。ささえあい通信・私の元気チャレンジノート配布による安否確認・介護予防の取り組みがR2.9月～R3.3月で全4回実施され、全体で63自治会 発行総数5,192部の配布協力をいただいた。活動自粛による対象者の閉じこもりや、登録ボランティアの活動意識の低下が懸念される。

令和2年度 高齢者生きがい対策事業実施報告書

実施地区（新規1地区、継続3地区）

種別	自治会名	代表者	面積	小菜園名	協力者数
新規	南岡松	永田純子	100m ²	ひだまり農園	15名
継続	下島内	宮浦佳紀	1,200m ²	もりもり農園	18名
継続	西内堅	豊岡惟雄	100m ²	西内堅ふれあい農園	17名
継続	西長江浦下	池島一郎	150m ²	あじさい農園	37名

事業成果

本年度は、新規1自治会（南岡松自治会）、継続3自治会（下島内自治会、西内堅自治会・西長江浦下自治会）が小菜園事業に取り組まれた。

新規で取り組まれた南岡松自治会では、試行錯誤しながらメンバー全員で方針を決め農園の管理のありかたや収穫物の販売などが行われた。収穫した野菜は、百歳体操で地域高齢者に配ったり、ほぜ祭りのお供えものとされたほか、また安値で販売もおこなわれ5万円もの収益が上がったようである。

野菜作りをとおして会員同士のふれあいの場が出来、高齢者の生きがいづくりに繋がっている。コロナ禍で人との絆が希薄になり外出も制限された中、外での農作業はコロナの影響を受けにくい活動となった。

また、継続の3自治会においても、コロナの影響で思い通りの活動が出来なかったが、皆で楽しく作業ができ、いちだんと団結力が増したとの声が聞かれた。

令和2年度心配ごと相談事業実施報告書

心配ごと相談所（ふれあい福祉センター総合相談所）運営

曜 日	相談所開設時間	相 談 員 氏 名
毎週水曜日	午後1時30分 ～ 午後4時30分	常 勤 相 談 員 学 識 経 験 者 ・外赤純子・鶴田ミイ子・佐々木さとみ 民 生 ・ 児 童 委 員 ・上野憲昭・園田軍志・野田幸一・井園甚市・篠原なみ子 参 与 ・ 社 協 会 長 瀬戸崎恵子

相談内容実績

心配ごと相談所の実績

1. 心配ごと相談所名		ふれあい福祉センター総合相談所											3 建物		公立 民間									
2. 所在地		えびの市大字栗下 67 番地（35－2800）											建物名（総合福祉センター）											
4. 心配ごと相談員		常勤相談員 名（民生委員 名 民生委員外 名） その他 8名（民生委員 5名 民生委員外 3名） 参与 1名（社協会長 1名 司法書士 名）															5 職員		専任 名 兼任 1名 合計 1名					
6. 開設日数		50 日		週平均		1 日		7 出席相談員 延人員 94 人					民生委員 (58) 名			学識経験者 (36) 名			合計 (94) 名					
8. 相談利用者数		16 名 (男 8 名, 女 8 名)											9. 面接所要時間数							時間				
相談事項		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	計		
		生	年	職	住	家	結	離	健康・保健・衛生	医	精	人	財	事	児童福祉・母子保健	教育・青少年	障害者児福祉	母子福祉・父子福祉	老人福祉	苦	そ			
				業・生業							神・保健	権・法律							人		の			
		計	金		宅	族	婚	婚		療	健		産	故					福祉	情	他			
取扱件数		2			2	3		3					4							1	3	18		
処理状況	解決	1			2			1					2							1	2	9		
	継続												2									2		
	民生委員	1																				1		
	他機関					1		1													1	3		
	その他					2		1														3		

主な紹介先等：・民生委員・無料法律相談・市役所・家庭裁判所

相談員研修

月 日	事 業 名	備 考
4 月 1 日	相談員委嘱状交付式並びに研修	

無料法律相談

毎月第3木曜日 年 12 回開催 相談者実績 54 名 (58 件)

(家事 19 件、不動産 15 件、損害賠償 4 件、債権債務 9 件、倒産 1 件、サラ金 3 件、その他 7 件)

公証人無料相談

奇数月第4木曜日 相続・遺言 4 件

令和2年度えびの市ファミリーサポートセンター事業実績報告書

えびの市ファミリーサポートセンターとして、下記事業を実施しました。

事業	内 容
コーディネーター設置	正職員を兼務で1名を配置
お願い会員 (R3.3.31現在)	登録者数 101名(子ども134人)
おたすけ会員 (R3.3.31現在)	登録者数 16名
援助活動実績 (子ども実人数)	4月 11件(4人) 22.5時間
	5月 9件(4人) 12.5時間
	6月 16件(5人) 22.5時間
	7月 16件(6人) 34.5時間
	8月 11件(4人) 18.5時間
	9月 4件(4人) 4.0時間
	10月 3件(3人) 6.5時間
	11月 9件(4人) 18.0時間
	12月 2件(2人) 2.0時間
	1月 2件(2人) 2.0時間
	2月 9件(5人) 18.0時間
	3月 16件(4人) 33.0時間
	計 108件(47人) 194.0時間
おたすけ会員定例会	4月7日
支援顔合わせ会	4回
研修会(他市町村交流)	新型コロナ感染拡大により研修参加なし
預かり会員養成講座	養成講座～令和2年9月15、17日に開催。スキルアップ研修として、現おたすけ会員にも講座呼びかける。 9月15日受講者6名 9月17日受講者6名+現おたすけ会員8名
相談件数	新規相談7件(うち相談および登録のみ4件) 預かり子ども実人数 11人
広報活動	・市内各公共機関窓口にパンフレット配置 ・社協だより掲載 ・通年、保健センターにて行われる乳幼児検診時に出向き、保護者の方々に口頭による呼びかけとパンフレット配布を行っていたが、新型コロナの感染予防のため、出前広報活動が実施できなかった。

令和2年度日常生活自立支援事業 事業報告書

I 職員配置状況							
					合計		
専門員	常勤	正規職員	1 名		2 名		
		臨時職員	1 名				
	非常勤	嘱託職員	名				
		その他	名				
生活支援員	常勤	正規職員	名		6 名		
		嘱託職員	名				
	非常勤	嘱託職員	名				
		その他	6 名				
	雇用関係のない名簿登録者		名		0 名		
II 事業実施状況							
1. 相談・問合せ件数		本事業の利用に関するもの				その他	合計
		認知症 高齢者等	知的 障がい者	精神 障がい者	不明 その他		
		263	197	310	49		
2. 契約者数等							
		認知症 高齢者等	知的 障がい者	精神 障がい者	その他	合計	
①R1年度末実利用者数		15	5	8	1	29	
②R2年度の 契約者	新規契約者数	4	0	0	0	4	
	うち生保受給者数	2	0	0	0	2	
	解約者数	5	1	1	0	7	
③R2年度末の 実利用者数	実利用者数	14	4	7	1	26	
	うち生保受給者数	3	1	3	1	8	
3. 支援回数							
		上半期		下半期		合計	
①生保受給者以外への支援		102		99		201	
②生保受給者への支援		121		120		241	
III 個別事業実施状況							
事業		内容（回数・枚数・人数等を記入）					
①広報啓発	資材等の作成状況						
	広報誌等への掲載等	・社協だより 1回					
	説明会・会議等	・民生委員協議会定例会 年1回（61名）					
	その他						
②会議開催及び参加 （貴会、もしくはブロックなどで 独自に開催、もしくは参加した会 議等を記入）		・R2年度日常生活自立支援事業第1回専門員業務会議 ・R2年度日常生活自立支援事業生活支援員研修会					
③職員研修等 （貴会、もしくはブロック等で独 自に実施した研修などを記入）							
④関係機関・団体や専門職等と の連携		・必要に応じて、関係機関（民生委員・包括・福祉課等） と連携を図った。					
IV 調査等							
① 事業実施状況訪問調査		11月26日		県社協3名			
② 事業の運営に係る訪問調査		3月12日		県福祉サービス運営適正化委員会3名			

生活福祉資金貸付事業実績報告書

令和3年3月31日現在

1. 相談状況 (償還関係含む)

年間件数	95件	昨年：33件
------	-----	--------

2. 申込等状況

	申込件数	承認	審査中	不承認	本人取下げ
年間状況	87	85	0	1	1

3. 資金別申込金額並びに決定額

(単位：円)

資金種類	申込件数 (件)	申込額	結果	件数	決定等金額
総合支援資金	57	30,000,000	承認	57	30,000,000
教育支援資金	2	948,000	承認	2	938,000
			本人取下げ	0	0
福祉資金	28	4,006,470	承認	26	3,797,000
			不承認	1	84,700
			本人取下げ	1	309,100
不動産担保型生活資金	0	0	承認	0	0
計	87	34,954,470	承認計	85	34,735,000

4. 利子補給金実績

件数	0件	利子補給金額	0 円
----	----	--------	-----

5. 資金貸付中状況

資金種類	貸付中件数 (件)	貸付中元金金額 (円)
総合支援資金	52	29,253,840
福祉・教育・小口資金	124	45,917,995
離職者支援資金	1	942,960
計	177	76,114,795

6. 本年度の反省と次年度に向けて

令和2年度も社協だよりやホームページを活用して貸付内容の広報及び、コロナウィルス感染症の影響を踏まえた特例貸付の広報を行いました。相談・申込み件数は昨年度より倍増しました。最終的な申込件数は87件、貸付決定は85件になりました。貸付・償還に関する相談も多い状況となりました。

令和3年度はさらに広報を充実し、なお一層生活困窮者の相談に対応し、金銭的にも安心して暮らせるよう支援していきたい。また、市役所(仕事・生活支援室等)との連携も更に充実させ、生活困窮者の自立支援の一助となるよう支援していきたい。

令和2年度 訪問介護事業報告書

令和3年3月31日 現在

1. 職 員

主任 1名
サービス提供責任者 3名(主任含む)
常勤 3名 非常勤(登録) 10名(実働9名)

2. 介護保険月別サービス提供実績

													2年度	31年度
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	合計
利用者数	28	28	26	26	24	31	31	31	30	27	30	30	342	317
延回数	297	262	292	268	236	270	319	333	286	203	220	215	3201	3349

異動状況内訳

新規契約 25名
契約解除 3名 (介護予防へ)
施設入所者 13名
死亡者 4名
終了 1名

3. 介護予防総合事業月別サービス提供実績

													2年度	31年度
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	合計
利用者数	25	25	27	29	28	29	29	29	28	30	28	27	334	316
延回数	118	122	145	149	138	131	161	134	137	136	126	139	1636	1487

異動状況内訳

新規契約 14名
契約解除 9名 (介護保険へ)
死亡者 1名
終了 2名 (入所3名含む)

4. 研修参加状況

研修日時	研修内容	参加者
12月21日	障害者虐待防止・権利擁護研修(オンデマンド研修)	今別府
3月1日	障害者虐待防止・権利擁護研修(オンデマンド研修)	今別府

5. 職場内研修実施状況

研修期日	研 修 内 容
4月16日	事故再発防止
5月15.29日	緊急時対応 服薬の知識(点眼薬の使い方)。
6月18.30日	季節野菜お助けレシピ あいまいゾーン「掃除支援」
7月15.31日	介護現場からみた緊急事態宣言 生活援助「掃除」の効果と目的
8月31日	新型コロナウイルス流行期の健康づくり
9月14.30日	高齢者の低栄養 障害のある人への支援
10月13.30日	ヘルパーとしてはつらつと過ごすための健康講座(連絡会合同研修) 冬に気をつけたい病氣と事故
11月13.30日	感染対策 介助術
12月17日	倫理・法令遵守及び、年末年始の調整及び緊急時対応
1月29日	口腔ケアで感染症予防
2月12.26日	季節の野菜+たんぱく質のお助けレシピ ヘルパーが笑顔で元気に訪問できるように(連絡会合同研修)
3月12.31日	障がい者虐待・権利擁護研修 ヘルパーとしての遵守事項及び令和3年度雇用契約について
4～3月	ヘルパー連絡会(市内ヘルパー事業所間)で月1回(第2火曜日)持ち回りにて会合

評 価

毎月2回の定例会を設け、利用者に適正なサービスの提供ができるように、学習会や技術の研修を行いました。報告・連絡・相談の徹底を図っていますが、連携不足により利用者等に迷惑をかけることもありました。現状では登録ヘルパーの退職が年々増え人材不足によるサービス提供責任者の負担が大きくなってきています。限られたヘルパー人身体制の中で、ヘルパーの資質向上を図り、利用者への質の高いサービスの提供に日々切磋琢磨し努めてまいります。

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、3回ほどヘルパー会議(研修)を休止しました。また、研修等の案内も少なく参加ができておりません。

ヘルパーの確保が困難な状況ですので今後の重要課題です。

令和 2 年 度
居宅介護サービス事業実績報告書

居宅介護サービス事業(身体障害・精神障害・知的障害)

月別サービス提供実績													2年度	31年度
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	合計
利用者数	13	13	14	14	15	17	21	20	20	19	16	18	200	168
延回数	135	130	136	139	134	140	163	153	163	140	123	152	1708	1534

居宅介護サービス事業(重度訪問介護)

月別サービス提供実績													2年度	31年度
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	合計
利用者数	3	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	35	36
延回数	68	73	110	74	113	107	108	98	99	99	86	100	1135	1211

居宅介護サービス事業(通院介護)

月別サービス提供実績													2年度	31年度
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	合計
利用者数	8	7	7	10	10	10	9	10	8	10	9	10	108	100
延回数	21	12	16	22	25	25	21	19	13	20	16	18	228	244

移動支援事業実績報告書

月別サービス提供実績													2年度	31年度
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	合計
利用者数	7	8	8	13	7	7	13	14	15	11	9	13	125	143
延回数	25	34	29	30	25	25	32	36	38	33	29	43	379	411

異動状況内訳

新規契約者 11名

契約解除者 7名(終了・死亡4名、入所2名、介護保険へ1名、介護予防へ0名)

通所介護事業実績報告

令和3年3月31日現在

1) 職 員

管理者 1名 生活相談員 1名 看護師 2名（臨時1名 パート1名）
介護職員 3名（常勤1名 臨時1名 パート1名）

計 7名

2) 介護保険事業

① 年間延利用者数 3593名

② 現登録者数 30名

要介護1 21名 要介護2 4名 要介護3 5名 要介護4 0名 要介護5 0名

3) 介護予防（総合）事業

① 年間延利用者数 409名

② 現登録者数 5名 要支援1 0名 要支援2 5名 事業対象者 0名

4) 1日平均利用者数 16名

5) 研修会参加状況

- ・チーム力を高めるコミュニケーション研修
- ・業務効率化のためのタイムマネジメント研修
- ・エンドオブライフケア研修
- ・介護現場における事故予防とリスクマネジメント
- ・利用者主体支援研修

<評価>

各種研修会への参加を積極的に行い、介護技術・認知症対応等の向上に努め日々の業務に努めてまいりました。祝日の営業の方も昨年同様に実施し、利用者様の安定した継続利用ができるよう努めてまいりました。また、一日の職員の状況では中では時短勤務の職員もおりサービスの質が低下しないよう個別活動等個々にあったものを事前に準備を行い、スタッフ間での共通理解持ちながら行いました。

コロナ渦における施設での取り組みとしては、職員の検温・消毒や利用者様へ書面にてコロナウイルスへの啓発、間隔の確保や利用者の迎え時の際検温・体調確認・消毒の徹底や室内・使用する寝具やトイレ等の消毒や定期的な換気に日々取り組み予防の徹底を行ってまいりました。

次年度も定期的な勉強会など行い職員一人一人が介護技術・知識などスキル向上を目指し、利用者様が安心して楽しみを持ってご利用できるように努力して参りたいと思います。

令和2年度 通所介護事業月別実績

介護保険																介護予防（総合事業）															
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	令和2年度	平成31年度																	
開所日数	22	21	22	22	21	21	22	21	20	20	20	23	255 日	256 日																	
月間利用延人員	312	300	301	289	286	309	322	326	282	275	273	318	3,593 人	3,948 人																	
食事	312	300	301	289	286	309	322	326	282	275	273	318	3,593 人	3,948 人																	
実人数	30	30	28	29	30	31	31	32	30	29	29	30																			
要介護1	18	18	17	16	17	17	17	18	18	19	20	21	延 216 人	延 227 人																	
要介護2	11	11	10	10	9	9	9	9	7	6	5	4	延 100 人	延 112 人																	
要介護3	1	1	1	3	4	4	4	4	4	4	4	5	延 39 人	延 25 人																	
要介護4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	延 0 人	延 1 人																	
要介護5	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	延 4 人	延 1 人																	
月間利用延人員	32	27	40	37	36	34	38	30	33	32	34	36	409 人	276 人																	
食事	32	27	40	37	36	34	38	30	33	32	34	36	409 人	276 人																	
実人数	6	6	7	5	5	6	6	4	6	5	6	5																			
事業対象者	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	延 11 人	12 人																	
要支援1	2	2	2	1	1	1	1	1	0	0	0	0	延 11 人	延 17 人																	
要支援2	3	3	4	4	4	4	4	3	5	4	5	5	延 48 人	延 41 人																	
合計	344	327	341	326	322	343	360	356	315	307	307	354	4,002 人	4,224 人																	
体験利用						1		2					延 3 人	延 2 人																	

高齢者給食サービス事業実績報告

令和 3 年 3 月 31 日現在

1 職員

栄養士 1 名

調理（兼配送） 5 名（臨職 1 名 パート 3 名 短パート 1 名）

計 6 名

2 年間延配食数

委託事業

昼食 7,597 食

夕食 18,327 食 計 25,924 食 （前年度 23,735 食）

自主事業（障害）

昼食 2,735 食

夕食 3,486 食 計 6,221 食 （前年度 4,559 食）

合計 32,145 食

3 登録者数

委託事業 98 名

自主事業（障害） 20 名

<評価>

令和 2 年度は、9 月 7 日台風接近により昼食を休止しました。月曜日であった為に、前週金曜日に判断しパンとジュースを事前に配布し対応しました。

食数については、前年に比べて、委託・自主ともに増加が見られました。外出自粛やサービス利用の休止等の影響もあったものと考えます。

新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、利用者への配食及び安否確認に取り組んできた 1 年となりましたが、次年度においても、お弁当配食を通じて利用者様の在宅生活の支援ができるよう取り組んでいきたいと考えます。

令和 2年度 えびの市高齢者配食サービス利用実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	平成31年度
配食日数	22	21	22	23	21	22			20	20	20	23	257 日	257 日
配食数	昼	809	833	859	752	801	920	899	931	896	841	924	10,332 食	9,525 食
	夕	1,812	1,711	1,868	1,956	1,790	1,891	1,818	1,784	1,664	1,694	1,944	21,813 食	18,769 食
	小 計	2,679	2,520	2,701	2,815	2,542	2,811	2,717	2,715	2,560	2,535	2,868	32,145 食	28,294 食
	累 計	2,679	5,199	7,900	10,715	13,257	18,750	21,467	24,182	26,742	29,277	32,145	32,145 食	28,294 食
	1日平均	122	120	123	122	121	128	129	136	128	127	125	125 食	110 食
対象数	月末	25	27	25	25	26	25	30	29	31	25	24	317 人	311 人
	昼だけ	64	62	64	68	68	64	63	65	63	63	62	774 人	680 人
	夕だけ	27	26	29	28	26	32	35	34	32	32	32	363 人	307 人
	昼 夕	116	115	118	121	120	121	128	128	126	120	118	1,454 人	1,298 人
	合 計	344	327	341	326	322	360	358	315	307	307	354	4,005 食	4,226 食
デ イ														
検 食														
生きがいい・デー														
合 計														
累 計														
デイ・検食・生きが いい 1日平均														
1日平均食数														

居宅介護支援事業所実績報告書

令和3年3月31日現在

1. 職員体制 : 常勤 5名 (主任介護支援専門員 2名 介護支援専門員 3名)
令和2年4月1日～令和3年 3月31日 4.5名

2. 事業所体制: 特定事業所加算Ⅱ

3. 月別実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
介護保険	127	129	136	137	135	133	144	149	149	145	149	150	1683	140
介護予防	7	7	7	7	6	8	7	8	8	8	9	9	91	7.6
総合支援	7	5	4	4	4	4	4	4	4	3	3	4	50	4.2

4. 移動状況内訳

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
新規	9	5	7	8	3	4	7	11	4	6	8	4	76	
終了(入所等)	4	4	4	3	2	4	1	1	2	5	2	4	36	
終了(死亡)	2	0	0	2	2	0	1	0	3	0	1	1	12	

5. 介護度別利用者人数 (令和3年3月実績)

総合	支援1	支援2	合計	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
1	1	11	13	69	48	23	6	4	150
介護支援専門員一人あたりの利用者件数(予防は1/2人) 上限35件 (6.5+150)÷4.5 34.7件									

6. サービス利用状況 (令和3年3月実績)

訪問介護	訪問看護	訪問リハビリ	訪問入浴	通所介護	通所リハビリ	短期入所	福祉用具貸与	居宅療養
37 (17)	13	1	0	89(19)	38	29	84	1

()は社協サービス

(年間実績)	住宅改修	福祉用具購入
	13	12

7. 研修参加状況

別紙報告

8. 居宅研修実施状況 ※特定事業所週1回程度の開催要件

研修項目	回数
①現に抱える処遇困難ケースについて具体的処遇方針	34
②過去に取り扱ったケースについての問題点改善方策	1
③地域における事業所や活動できる社会資源の状況	0
④保健医療及び福祉に関する技術	1
⑤ケアマネジメントに関する技術	4
⑥利用者からの苦情があった場合はその内容改善方針	1
⑦その他(地域包括支援困難ケース事例検討参加等)	7
合計	48

9. えびの支部定例会研修(市内ケアマネージャー定例会)

日	担当	研修内容
5月21日	事務局	えびの市役所より異動職員紹介、新型コロナ感染への対応について 本年度定例会の流れについて その他連絡事項
7月16日	さくら苑 活きがい発電所	事例検討会
9月17日		休止(新型コロナウイルス感染自粛にて)
11月19日	西部・ふき・りぼん・えいわ	事例検討会
1月21日		休止(新型コロナウイルス感染自粛にて)
3月18日	事務局	認知症カフェ・介護タクシー紹介、新型コロナワクチン接種について 新年度役員紹介

※今年度は定例会開催については2か月1回開催になる。

10. 評価

前年度同様、相談しやすい相談窓口を心がけ、要介護および要支援状態にある利用者が可能な限り居宅で能力に応じた自立した生活を営むことができるように支援を行ってきた。

本年度は4.5人体制で一人当たりの受け持ち件数は平均32.5人、長期入所や死亡などで終了するケースも月4～5件あり、新規相談があれば可能な限り受け持ち、持ちケースを少しでも増やし保持してきた。

1ケースごとに複雑な事例、障がいから介護保険へ移行ケース、ターミナルケアケース、在宅支援を行いながらやもをえず施設入所や長期入院になったケースも多くこれまで同様、相談対応を行った。

本年度は新型コロナウイルス感染により私たち自身のかかわり方、感染予防対策、県外家族帰省時の対応、サービス事業所が県外帰省家族と接触した場合2週間サービス利用ができないことへの対応、サービス事業所の代替えなどさまざまな対応を行いサービス事業所や家族との連携や情報共有を図ってきた。

令和3年度介護報酬改定に伴い我々に求められていることは尊厳保持と自立支援に資する質の向上、業務効率化を図るを目的とされている。

これまで同様、私たちの役割は要援護者の方々が住み慣れた家で自分らしく末永く生活が続けられるように、きめ細やかな相談支援を提供していけるように努めていき、さらなる役割を向上させていきたい。また、安定した受け持ち件数を維持できるように、新規相談に対しても積極的に取り組み関係機関との連携を図りながら、利用者の重度化防止のために敏速な対応に努めていきたい。

相談支援事業所実績報告書

R. 3. 3. 31現在

1. 職員体制：常勤1名、常勤兼務1名（相談支援専門員）

2. 月別実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
計画作成	12	5	7	7	4	5	12	4	2	6	6	8	6.5
モニタリング	62	31	37	43	46	70	46	31	41	40	33	65	45.4

3. 移動実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	2	2	5	5	1	1	3	1	5	2	3	4	34
終了（死亡）	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
終了（就労等）	0	1	0	1	0	1	1	0	4	1	0	20	29

4. 障害別利用者人数（令和2年3月実績）

障害種別	身体	知的	精神	難病	発達	合計	総数
男	17	20	17	1	30	85	140
女	10	19	13	1	12	55	

5. 年齢別（令和2年3月実績）

障害種別/年齢	身体		知的		精神		難病		発達		合計	
18歳未満（男/女）	1	1	1	1	0	0	1	0	30	12	33	14
18歳～65歳（男/女）	13	8	17	17	16	13	0	0	0	0	46	38
65歳以上（男/女）	3	1	2	1	1	0	0	1	0	0	6	3

6. サービス利用状況（令和2年3月実績・重複含む）

居宅介護	重度訪問介護	放課後等デイサービス	短期入所	共同生活介護	生活訓練
19	3	29	3	7	4
就労継続支援B型	児童発達支援	施設入所支援	生活介護（通所）	就労継続支援A型	就労移行支援
30	16	7	11	8	3

7. 研修の参加状況

- ・事業所内事例検討 現に抱える処遇困難ケースについて具体的処遇方針など 48回
会議
- ・小林相談員部会 7回 児童発達支援協議会研修 1回 宮崎県相談支援協議会 1回（西橋）

8. 評価

本年はコロナウイルスの影響を受けて、病院やサービス事業所への立ち入りが制限され、利用者やサービス事業所とのコミュニケーションがとり難く、アセスメントやモニタリングに苦慮した1年でありました。年度後半には通信環境が整い、zoomやLINE電話を使ったモニタリングや面会を行うことができるようになり幾分か改善されましたが、今後も感染の状況をみながらの支援が続くと思われます。新規相談では昨年度と同様に、児童発達支援と放課後デイサービスの相談が多くありましたが、どこの事業所も定員ギリギリの状態が続いており希望する事業所や回数を利用できないといった声がきかれました。サービス事業所側も高学年の利用者の利用回数を減らしたり療育を終了し調整されていたようです。その他、親からの虐待を受け児童相談所から直接サービス計画依頼を受けることや医療依存の高い子どもなど、複雑なケースも増えています。成人は特に大きく変わりはありませんでしたが、居宅介護のヘルパー不足により、回数や支援内容を調整している厳しい状況があります。

依然として、えびの市では利用できるサービスが少ない為、選択肢や利用回数が限られている現状にあります。令和3年度も限られた資源の中で利用者の方が、自分の目標を持ち充実した生活が送れるように支援を行っていきたいと思います。

在宅介護支援センター事業の実績報告書

令和3年3月31日現在

1、職種

ソーシャルワーカー

2、相談実績

(人数)

介護保険に関すること	29
高齢者配食サービス事業	40
在宅高齢者等介護手当	3
緊急通報システム	1
権利擁護	0
免許返納	9
その他（訪問依頼など）	31
実態把握	403
継続訪問	61

3、支援センター基本台帳整備数

804人

4、えびの市在宅介護支援センター（地域包括支援センター）連絡会議

定例会 月1回

5、介護予防教室年間実績回数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	2	5	6	0	3	0	5	3	0	1	0	31

（令和2年度の在宅介護支援センター事業についての評価と課題）

令和2年度はコロナウイルス感染症により予防教室の中止・訪問の中止期間があり月の目標件数達成が困難だった。令和3年度は毎月の目標件数を達成する。また継続訪問や困難事例の高齢者に関しては包括支援センターや各関係機関・民生委員の方々との連携を図り早期対応へと努めていく。新規対象者の実態把握につとめ、担当地域の支援センター窓口としての役割の充実を図りたい。

令和2年度 えびの市生活支援コーディネーター活動報告

令和2年度の基本目標

誰もが住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けることのできる地域の実現に向けて、地域の生活課題を住民が我が事として向き合い、住民自ら自発的に、助け合い支え合う地域づくりに意欲的に取り組めるようにコーディネートしていく。

活動計画および実施報告

	計 画	報 告
住民の意識改革	これからの助け合い社会に向けての広報 ① 広報誌およびホームページを通じて情報発信(随時) ② 地域福祉推進会議および社会福祉大会での意識改革(年3回) ③ 地区公民館等での出前講座および座談会(年3回)	① ボランティアだよりおよびホームページにて情報発信行う。 ② コロナ感染拡大の影響で今年度は、地域福祉推進会議および社会福祉大会は開催されなかった。 ③ 実施できなかった。
地域ケア会議	個別事例の課題からみえる地域課題を抽出、課題解決への取り組み検討	月1回の地域ケア会議に出席、生活支援コーディネーターとして意見交換を行った。 開催:6/25 7/30 8/27 9/24 11/26 12/24 3/11
人材育成	目的:えびの市におけるこれからの生活課題を理解し、日常生活支援の担い手として、地域で助け合い支え合い活動を進めていく人材を育成する。 暮らしねっとサポーター養成講座開催(4日間 年2回)受講者目標:40名	暮らしねっとサポーター養成講座開催 第3回)7/13 7/20 7/27 8/3 受講者 23 名(修了者 18 名) 第4回)11/20 11/26 12/4 12/10 受講者 13 名(修了者 10 名) ※今年度合計 受講者 36 名(修了者 28 名)
地域課題解決への取り組み	① 買い物等の外出支援事業実施に向けて、アンケート調査を実施 目 的)市内中心部まで遠い地域の高齢者の生活状況を把握し、外出困難者の外出支援に繋げる。 アンケート目標:150名 ② 生活支援に関する地域住民のアンケート調査を実施 目 的)地域の日常の助け合い、支え合いの状況を把握し、今後の生活支援体制整備に向けての課題と対応策に取り組む。	① 外出支援に関するアンケート実施 期間)2年5月～R3年2月 地域)おおむね高齢化率50%を超え、市内中心部より離れている山間部地域 方法)自宅訪問聞き取り調査 人数)117名 外出支援事業試験運行開始 事業名)わくわく・お出かけサロン 試験運行開始)令和2年10月 開催日)毎週月曜日 AM 第1週)真幸方面 第2週)上江方面 第3週)飯野方面 第4週)加久藤方面 ② 生活支援に関するアンケート実施 地域支え合い事業ボランティアを対象に生活支援に関するアンケート(意識)調査を実施。 期間)R3年2月20日～3月19日 実施人数)857名 回収人数)532名 回収率:約62%

令和2年度 在宅介護者のつどい（和の会）事業実施報告書

和の会

	実施期日	参加者	内 容
第1回	6月10日（水）		新型コロナ感染拡大のため実施できず。
第2回	8月26日（水）		新型コロナ感染拡大のため実施できず。
第3回	10月14日（水） 場所：社会福祉協議会	14名	・在宅介護での訪問看護の役割 訪問看護ステーションケアふる 所長 北原優子氏 ・自宅でできる応急処置の紹介
第4回	12月11日（水） 場所：社会福祉協議会	18名	・花の寄せ植え ・認知症の方との向き合い方 特別養護老人ホーム きりしまの園 鎌田千恵美氏
第5回	3月24日（水） バスハイク計画→中止		新型コロナ感染予防のためバスでの外出は中止。 代わりに介護を支える DVD の貸し出しを在宅介護者に郵送にて案内する。

〈 令和2年度事業開催状況 〉

開催回数：今年度は年5回計画したが、新型コロナ感染拡大に伴い、2回の開催となった。

広報活動：回覧文書、介護手当受給者、過去の参加者、ケアマネ、在宅介護支援センターへの案内など広く広報を行った。

総 評：今年度はコロナ禍での開催であり、感染予防に注意を払い、介護者も慎重な参加の傾向であった。内容については、10月、12月ともに、在宅介護の理解を深めることができ、好評であった。全会ととして、参加者の介護の悩みや工夫していることなど意見交換しながら交流を深めることができることで、参加者の介護疲れの癒しや心身のリフレッシュにつながったのではないかと思います。次年度もコロナ禍の中で、開催のしかたを工夫しながら、在宅介護をされている方々の気持ちに寄り添えるように、介護者のつどいの企画、実施をしていきたいと思う。

その他の取り組み事業

【令和2年度法人協働地域貢献支援事業 実施報告】

●わくわく・お出かけサロン

目 的：市内山間部地域に住んでいる方で、買い物などの外出が難しくなった方々を対象に、交流の場や買い物の手助けを行うことで、閉じこもり予防や生活意欲の向上につなぐ。

開催期間：令和2年10月～令和3年3月

車両提供：えびの涼風園、シルバーケアセンターほうよう

事業実績：開催回数：22回（毎週月曜日） 登録者：31名 利用延人数：91名

●暮らし支えバンク

目 的：生活困窮者および生活課題のある世帯に対して生活復旧のための環境整備を行い、次の支援につなぐ。

協働事業所：えびの涼風園、シルバーケアセンターほうよう、加久藤乳児園

事業実績：年間4件（室内の清掃、ゴミ処分3件、庭の草払い1件）

●生活困窮者への食料支援

目 的：生活困窮者に対して、生活復旧のための緊急食料支援を行い、関係機関と連携を取りながら生活の安定につなげる。

事業実績：年間8件

●みやざき安心セーフティネット事業

目 的：複数の社会福祉法人が連携して、生活困窮者に対して、相談支援や経済的援助（現物給付）を行う。

協働事業所：えびの涼風園、シルバーケアステーションほうようと協働

事業実績：①1件目）令和3年2月 20代男性

②2件目）令和3年3月 40代男性

●こども宅食「田の神さあの贈りもの」

目 的：「生活が大変」、「生活にゆとりがない」という子育て中のご家庭に、定期的に食材を届け、「食材の支援を受けたい方」と「食材を提供していただける方」を結び、安心した繋がりをつくり、必要な支援につないでいく。

協働機関：えびの市役所こども課

協力団体：暮らしねっとサポーター

事業実績：①第1回）令和2年12月 12世帯（47人） うち、子ども22人

②第2回）令和3年2月 11世帯（43人） うち、子ども20人

総 評：令和2年度、市内法人協働事業として、市内の社会福祉法人の協力をいただき、上記の事業を実施した。それぞれの事業目的に沿った活動を実施できた。コロナ禍での生活困窮者は今後も増える傾向にあると思われる。令和3年度も市内社会福祉法人と連携、協力をいただきながら、個人または地域の生活課題の解決に向けての地域貢献事業を展開していきたい。

